

データで見る経済	履修年次	1	
	単位	2	
田中 彰夫、小出 琢磨	配当期	前・後	
	授業方法	講義/ オンデマンド	
<b>授業の内容</b>			
<p>[授業の概要]</p> <p>本授業では、まず、物事を数字で概要を捉えることの重要性について理解したうえで、データ分析の手法を学ぶ。次に、世界の国や地域等の経済状況をマクロ経済指標などのデータを通じて理解し、現在かかえている問題の比較や今後の方向性を検討する。</p> <p>また、日本経済の状況については、生活に身近な指標となるデータを用いながら、一歩踏み込んで考えていきたい。具体的には、日本の景気の変動や、日本経済における政府や日銀の役割について見ていく。</p> <p>そして最後に、経済におけるミクロ的な視点、つまり、市場原理や企業経営の実態を企業に関するデータで見ていく。例えば、市場はどう需要と供給のバランスが保たれているか、企業の経営状況はどのように測れば良いのか、企業間ではどのような違いが見られるかについて、データを見ながら考察していきたい。</p>			
<b>この科目の到達目標</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・データで見て数字で捉えることの重要性やデータ分析の基本が理解し、データを用いた情報収集において、“あたり”をつけながら、仮説を設定し、作業を取組むという一連の流れが理解できるようになる。</li> <li>・経済関連の統計データ等を用いて、世界経済や日本経済の状況や課題、対応の方向性が理解できるようになる。</li> <li>・市場や企業に関するデータを用いて、企業の動きや経営状況を理解できるようになる。</li> </ul>			
<b>成績評価の方法</b>			
出席状況と授業参画態度、授業外学習、提出課題、定期試験等により総合的に評価する。なお、提出課題および定期試験を履修要件とする。			
週	授業項目	週	授業項目
1	数字でつかむことの重要性① ～日本経済の身近なデータを見てみる～	8	日本経済についてデータを用いて深く見る② ～景気の変動:日本のデフレ～
2	数字でつかむことの重要性② ～データ分析の基本～	9	日本経済についてデータを用いて深く見る③ ～政府の役割～
3	世界と日本の経済をデータから見る① ～世界の主要な国別の経済状況～	10	日本経済についてデータを用いて深く見る④ ～日銀の役割～
4	世界と日本の経済をデータから見る② ～国別以外の軸でみた経済状況～	11	市場原理と企業運営をデータから読み取る① ～需給曲線～
5	世界と日本の経済をデータから見る③ ～貿易と為替～	12	市場原理と企業運営をデータから読み取る② ～買い手・売り手の思惑の中での企業の動き～
6	世界と日本の経済をデータから見る④ ～人口問題～	13	市場原理と企業運営をデータから読み取る③ ～企業全体の把握～
7	日本経済についてデータを用いて深く見る① ～景気の変動:日本の戦後復興と高度成長～	14	市場原理と企業運営をデータから読み取る④ ～企業の生産性分析～